

1 目的

放射線被ばくによる疾病については、昭和51年11月8日付け基発第810号「電離放射線に係る疾病の業務上外の認定基準について」（以下「認定基準」という。）に基づき業務上外の判断を行っているが、認定基準を定めていない疾病については、複数の医学専門家の検討により、個別に業務上外の判断を行っている。

放射線被ばくにより、がんをはじめとする健康障害が引き起こされることは明らかになってきているが、業務上疾病の認定に当たって重要な量反応関係等の情報についてはさまざまな調査結果が報告されており、科学的な結論は見出されていない状況である。

このような状況の中で、迅速・適正に業務上疾病の認定を行うためには、最新の医学的知見を収集・分析し、必要な情報を整理することが不可欠となっている。

このため、本調査研究は、放射線被ばくによる疾病について、これまでに得られている医学的知見を収集・分析し、業務上疾病の認定に資する情報を整理することを目的とする。

本調査における対象疾病と、ICD10 コードとの関係を以下に示す。

図表 1-1 本調査における対象疾病リスト

	分類	I C D 10 コード
1	全固形がん	
2	脳・中枢神経系のがん	C70-C72
3	口腔・咽頭のがん	C00-C14, C32
4	皮膚がん	C43-C44
5	甲状腺がん	C73
6	食道がん	C15
7	胃がん	C16
8	肺がん	C33-C34
9	乳がん	C50
10	肝がん	C22
11	胆のう・胆管のがん	C23-C24
12	膵がん	C25
13	腎がん	C64-C66, C68
14	大腸がん（結腸がん、直腸がん）	C18-C20
15	子宮のがん（子宮体がん、子宮頸がん）	C53-C55
16	卵巣がん	C56
17	前立腺がん	C61
18	膀胱がん	C67
19	その他のがん	
20	循環器系疾患（脳血管疾患及び虚血性心疾患）	I05-I09, I21-I22, I20, I23-I25, I60-I69
21	白内障	H25-H28

※一部、良性腫瘍も含めた「腫瘍」を対象とした文献も含まれる。